

市議会だより



ただいまパトロール中です。



こちらのQRコードから市議会
のホームページが閲覧できます。

木更津市議会

検索

【特集】令和5年度当初予算	2～3
議案審議	4
発議案	5
一般質問（代表）	6～7
一般質問（個人）	8～9
特別委員会活動報告	10
委員会の行政視察・ウクライナ、トルコ・シリアへ支援金 ..	11
Topics	12

一般会計538億8,692万6千円 使い道をチェック!

可決

生活の支援

●結婚新生活支援事業費 1,151万8千円

婚姻した世帯を対象に補助金を交付することで、少子化対策の推進や移住定住を図ります。

Q 対象範囲の拡大予定は

A 所得額400万円未満だった対象を、令和5年度は500万円未満に拡大し、29歳未満の夫婦には補助額を30万円から50万円に増額する。

●地域包括支援センター運営事業費 1億9,265万7千円

地域包括支援センターを運営するための経費です。

Q 中部地域包括支援センターランチが休止とのことだが、地域包括支援センターの運営に支障はないのか

A 職員の退職により、ランチ運営に必要な職員の人材補充ができないということで休止となったが、地域包括支援センターの運営に支障はない。

●高齢者タクシー

利用助成事業費 1,832万8千円

移動手段を持たない75歳以上の高齢者世帯や運転免許証を自主返納した高齢者へ、買い物や通院など日常生活の移動支援を行います。

Q 利用対象者の拡大は

A 令和5年度から、未成年者または74歳以下の重度の心身障がい者（重度の身体障害者手帳や療育手帳等を持つ人）と同居する75歳以上の高齢者世帯へ拡大していく。



学校教育の充実

●きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費 1,700万円

きさらづ特認校3校（東清小、中郷小、鎌足小）に通学区域外から通学する児童の送迎バスを運行し、その業務を委託します。

きさらづ特認校：小規模校の特性を生かし特色ある教育活動を推進している小中学校に、一定の条件のもと、通学区域外からの転入学を認め、児童生徒を受け入れる小規模特認校制度のことです。

Q 令和4年度からの増額理由と利用者見込みは

A 送迎バスを2台から3台に増やして運行するため増額となった。利用者は48人から61人へ増える予定。

●小学校プール改修事業費 2,913万2千円

小学校のプール等を改修するために必要な経費です。

Q 学校のプールについては基本的に廃止の方向だと聞いているが、どこの小学校で改修を行うのか

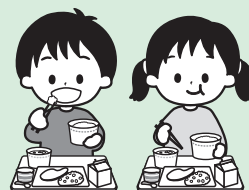
A 金田小学校のプール解体に要する経費である。現在、金田小学校のほか、3校（高柳小、富来田小、畑沢小）のプールが使用できない状況である。

●給食賄材料費 6億9,103万7千円

学校給食業務の実施に要する経費です。

Q 物価高騰の影響と給食費の値上げの考えは

A 物価高騰分として賄材料費の10%は市の財源で負担し、給食費の値上げは行わない予定。



【特集】令和5年度当初予算 「みんなの税金」

生活環境の充実

●緊急消防援助隊設備整備費補助金 1,481万8千円

消防組織法第45条第1項に定める、緊急消防援助隊の設備の整備を促進することを目的とした国の補助金です。緊急消防援助隊に登録している車両を更新する時に使用できます。

Q 令和5年度の補助金はどの車両に使用する予定か

A 富来田分署の高規格救急車の更新に使用予定。

●用排水路維持管理事業費 250万円

土地改良事業等により整備した施設等の維持管理に要する経費です。

Q 生活環境の改善にもなる。もっと多くの予算を請求すべきだと思うが

A 令和4年度予算では当初250万円計上し、12月補正で増額補正した。

要望：当初予算から実績に応じた予算をとってほしい。

●危険ブロック塀等対策事業費 400万円

危険ブロック塀等の除去工事等の助成を行います。

Q 危険ブロック塀等対策事業はいつまで実施するのか

A 10年程度と考えていたが、今後国や県の制度が継続する限り、かつ、ブロック塀改修等に関する要望が続く限り、続けていきたいと考えている。



●指定ごみ袋関係事業費 1億1,074万6千円

ごみの減量化・資源化を推進するため「燃やせるごみの専用指定袋」「燃やせないごみの専用指定袋」の有料化継続に要する経費です。

Q 令和4年度予算より増額となった理由は

A 物価の高騰等により、令和4年度に作成予定だった枚数が作れず、足りない分を作成するため増額となった。

●太田山公園再整備推進事業費 500万円

令和5年度から太田山公園の再整備に向けて実施計画の策定をしようとするもので、この実施計画に向け、民間資金活用を図るために企業の発掘を進めていきます。

Q 令和5年度の実施内容は

A 民間企業へサウンディング調査（対話型市場調査）を始めていく。

●市営住宅長寿命化計画整備事業費 5,786万円

長寿命化計画に基づく市営住宅便所改修等工事を行います。

Q どの市営住宅をどのように改修していくのか

A 江川団地の工事を予定しており、11棟の既存くみ取り便所の改修工事、公共下水道の公共柵設置を行う工事、バリアフリー工事として、トイレや浴室等に手すりの設置を行う予定。



予算審査特別委員会

3日間にわたり書類審査を行い、執行部に質疑を行うとともに、事務事業に関する改善要望を行いました。（質疑651件、要望85件）

委員構成

◎委員長 ○副委員長

◎國吉 俊夫 ○神蔵 五月
堀切 俊一／石井 徳亮／竹内 伸江
近藤 忍／高橋 てる子／大野 俊幸

議員年金制度の現在について

平成23年に議員年金制度は廃止となりました。ただし、廃止時点での受給者への支給は継続しているので、現在も負担金を市議会議員共済会に支出しています。

Q 令和5年度の負担額は

A 令和5年度は3,943万5千円である。





令和5年3月定例会で審議された議案等を公開しています。

議案審議

何が変わる？ 仕組みが変わる！ 暮らしが変わる！

議案第19号 木更津市庁舎整備基金条例の制定について

市庁舎建設基金条例を廃止して
市庁舎整備基金条例を設置

これまでの市庁舎建設基金条例を廃止して、整備基金条例を設置します。

庁舎の建設には多額の費用が必要なことから、行政施策に大きな影響を及ぼさないよう平成24年3月に「木更津市庁舎建設基金条例」を設置し、庁舎建設に要する経費の財源に充てるため、積立てをはじめました。

新庁舎の建設はせずに、民間が建てる複合施設を賃貸借して新庁舎にする計画のため、その整備に充当できるようにしました。

市庁舎建設基金
平成24年度から積立
25億6,184万7,497円 (令和3年度決算)
↓
市庁舎整備基金
令和5年度より 新庁舎整備に充てる

議案第20号 木更津市彩り豊かな個性が集う共生社会づくり条例の制定について

一人ひとりが互いを尊重しあい、支えあい、多様性を認め、安心して自分らしく暮らす

Q この条例は理念条例であるが、本条例が制定されることで市が具体的に考えていることは

A 市の基本施策の一つとして「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」をこの条例の施行に合わせ、4月1日からスタートさせる。

① パートナーだけでなくパートナーの子どもや親なども対象に加える（県内では初）。

② 異性間における事実婚も対象。

③ 制度をつくるにあたって、当事者の意見も参考にし、申請者に交付する「宣誓証明カード」を

GBTQ+のシンボルカラーの6色から選べる。

木更津市の「宣誓証明カード」で
家族（夫婦）として認められる
場合がある例

- ・病院で、ICU への入室、手術や輸血などの同意書にサインする際、家族として認められる。
- ・生命保険、損害保険などの受取人の指定時に家族として認められる。
- ・企業により、家族向け福利厚生サービス（慶弔休暇、介護休暇、家族手当など）を受けることができる。

議案第21号 木更津市幼児言語教室の設置及び管理に関する条例の制定について

まなび支援センターの幼児言語教室を
健康こども部でも発達支援課へ移管

Q まなび支援センターの幼児言語教室を健康こども部に移管して新しく創設する理由は

A 子育て支援課の発達相談件数が非常に増加しており、就学後の保護者からの相談も増加傾向にある。これまで子育て支援課で相談や教室等で継続的に関わってきたお子さんは、年長になると就学準備として幼児言語教室を紹介し、通所に繋がっていた。今回、それぞれの部署で実施していた就学前のお子さんの発達支援事業を統合し、同じ部署で継続的な支援ができる体制とし、今まで以上に、効果的な就学準備、また丁寧な小学校への引継ぎを目指す。

より充実する幼児言語教室の職員体制	
令和5年3月まで	令和5年4月から
・ 幼児言語教室担当の教員が継続 ・ 言語聴覚士等の資格を有する職員が継続	
	・ 発達相談を担当している専門職の職員（新規） ・ 公認心理師の資格を有する職員（新規）

発議案

発議案第1号 木更津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、本市議会における個人情報の適正な取扱いに関し、必要な事項を定めるため、新たに条例を制定しようとするもので、全会一致で可決しました。

可決

発議案第2号 木更津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

議案第23号「木更津市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について」の可決に伴い、新たに設置される「資産管理部」に関する事項を、総務常任委員会の所管に加えようとするものであり、全会一致で可決しました。

可決

賛否のわかれた議案等をお知らせします



令和5年3月定例会
最終日(3月22日)
録画映像

他29件の議案等は、原案どおり全会一致で可決しました。

番号	件名	議決結果	佐藤 修一	神蔵 五月	堀切 俊一	石川 富美代	石井 徳亮	竹内 伸江	草刈 慎祐	永原 利浩	座親 政彦	渡辺 厚子	田中 紀子	鶴岡 大治	鈴木 秀子	近藤 忍	斉藤 高根	國吉 俊夫	白坂 英義	大村 富良	高橋 てる子	大野 俊幸	石井 和俊	三上 正義	重城 正義
議案第11号	令和5年度木更津市一般会計予算	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第12号	令和5年度木更津市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第13号	令和5年度木更津市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第14号	令和5年度木更津市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第19号	木更津市庁舎整備基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第21号	木更津市幼児言語教室の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第26号	木更津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

※表の見方 ○:賛成 ●:反対 -:議長のため採決に加わっていません 欠:欠席

主な討論の内容

※市議会だよりに寄せられた市民の皆様の意見・要望により掲載

議案第11号 令和5年度木更津市一般会計予算

「物価や燃料費等の高騰に喘ぐ市民や事業者の苦しみなどが考慮されておらず、子どもたちを育てるべき教育関連予算も全体のわずか8.8%である。もっと市民や事業者と正面から向き合った予算編成をすべきと考え、反対。」
「施政方針に沿った内容が随所に見てとれ、限られた財源を有効に活用し編成された予算であると評価し、賛成。」
「市民要求に応える事業もあるが、市民への新たな負担や市民要求に応えられない事業予算が含まれており、反対。」

議案第19号 木更津市庁舎整備基金条例の制定について

「現時点で市庁舎を建設ではなく賃貸借で進めるとしても、今後、お金がないから建設できないという選択肢は避けるべきと考える。だからこそ、市庁舎建設基金は、未来の選択肢として取り崩すことなく、少しでも積み立てておくべきであり、整備基金条例と名前を変えれば、別の用途に都合よく使ってしまうことに一石を投じたく、反対。」

議案第21号 木更津市幼児言語教室の設置及び管理に関する条例の制定について

「条例の趣旨は理解するが、条例案にある幼児言語教室の使用の不承認や停止等の条項に対する明確な答弁がなく、これらは重大な人権侵害となる恐れがある。また、使用停止等の判断をめぐり、現場が混乱する恐れもある。条文の見直しをし、人権等の侵害と現場が混乱する恐れのない条例に変えるべきと考え、反対。」

議員が聞いた! 今とこれから 代表質問

紙面の都合上、質問議員が大項目1点を選び、質問と答弁を掲載しています。
各議員の顔写真下のQRコードから質問と答弁の動画をご覧ください。

3月定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として質問時間を90分から60分に短縮しました。会派の代表4人が大項目14点、小項目62点にわたり、代表質問を行いました。

自由民主クラブ代表 齊藤 高根 議員

今後の市政運営について伺う



問 今後の市政運営に対する基本的な考え方について伺う

答 次代につなぐ持続可能なまちの実現に向け、安心感や幸福感があふれ、健康で健全かつ美しい暮らしを享受できるウェルネス社会の実現を目指し、様々な市民サービスの向上を図るとともに、公共施設の整備や暮らしのデジタル化など、未来への投資を進め、本市の魅力やポテンシャルを活かしたまちづくりを推進していく。

問 今後4年間で重点的に取り組む施策について伺う

答 「人と人とのつながりや心の豊かさを実感できるウェルネス社会の創造」「子ども・若者を安心して育むことのできるまちづくり」「地域特性を活かした

魅力と活力あるまちづくり」「共生と循環によりふるさとへの愛着と誇りを高め、次代につなぐまちづくり」の4つをテーマに掲げ、オーガニックなまちづくりを推進していく。

問 ウェルネス社会の実現を目指すとのことだが、見解は

答 本市が目指すのは、人々とのつながりを感じながら、生きがいを持って日常生活を送る中で、心の豊かさや幸福感を実感できる社会であり、地域や社会で役割をもって活躍できるような場や機会を充実させ、実現につなげていく。



本更津市第3次基本計画の表紙

羅針盤代表 鶴岡 大治 議員

質の高い行財政運営の推進について



問 多様な行政需要を解決するために、財源確保は必須。ふるさと応援寄附金の現状は

答 市内の事業者や生産者との連携により、71件の新たな返礼品を登録できたことが好評であったため昨年度の約2.6倍の約3億5千万円と過去最高となる見込みである。返礼品の傾向は、本市を訪れ宿泊施設を利用する「体験型返礼品」の割合が75%と高いが今後は「お取り寄せ型返礼品」の割合を高めることでリピートを確保したい。

問 財源確保の新たな発想は

答 公共施設等に企業名を付与するネーミングライツ事業やクラウドファンディングなどの手法を活用する。

問 旧中央公民館の解体スケジュールを問う

答 財政負担の平準化を図るため令和5年度及び6年度の2か年に亘る継続事業とする。

問 旧中央公民館の跡地活用を問う

答 跡地は駅前近接していることから、防災面はもとより、土地取引に関する需要を的確に把握しつつ、様々な観点から利活用を検討し、駅周辺という財産価値を最大限に発揮させ、立地特性を生かした効果的な利活用を図りたい。



旧中央公民館

◆ 一般質問とは、議員が市の事務の状況や今後の方針などを問いただし、市民のための適切な市政運営が行われているかをチェックするものです。9月、3月定例会では、議員個人による質問に加え、会派の代表による代表質問も実施しています。



本会議の中継

本会議の様子を生中継(当日のみ)、録画中継で公開しています。



議員の情報

連絡先等を公開しています。

公明党代表 渡辺 厚子 議員

子ども医療費助成制度の高校生相当までの対象拡大を！



問 「子ども医療費助成制度の高校生相当までの対象拡大について、昨年の9月議会で質問した時は、千葉県内では昨年8月23日時点で24の市町村が高校生相当までの助成を行っていること、さらに、コロナ禍や物価高騰などの社会情勢の中にあつて、早期に事業化すべきであると訴えた。

それに対して、事業化への課題としては、「一番の課題は財源確保であることから、一部分から開始することも含め、検討していく。」との答弁だったが、令和5年度の予算案には計上されていない。

答 今後、想定される事業費と段階的な拡大についての検討は、想定される事業費は、調剤

を含めた通院分として約6千万円、入院分として約500万円の合計約6千500万円の増額となる見込みであり、子育て支援の更なる充実を図るため、段階的な拡大を含め高校生相当までの対象者拡大の早期実現に向けて取り組んでいく。

問 令和6年度を待たずに検討を進めていくのか

答 実施にあたっては、財源の確保を含め、システム改修や市民の方への周知期間も必要であるが、出来る限り早い時期での実施を目指す、検討していく。

子ども医療費の助成	
対象年齢	0歳から中学校3年度まで
助成対象	自己負担額
入所	12200円
通院	38200円
調剤	無料

子ども医療費助成制度

扶桑クラブ代表 大村 富良 議員

基地対策について伺う



問 前回の調査では、オスプレイは、超低周波領域の20Hz付近で極端に突出する傾向があり、その音圧レベルは100dBを超えていた。市民から家の戸や窓がたついて困るとの話

を聞くが、その因果関係についての見解を伺う

答 低周波音の影響について、現在、オスプレイのような移動発生源と比較できる環境基準や参照値は設けられていないが、環境省の固定発生源での参照値では、揺れやすい窓や戸では、20Hz、80dB程度によってがたつく場合があるとされているため、原因である可能性は否定できないと考えている。

問 どうすれば、受ける影響を軽減できるか伺う

答 発生源から距離をとること、受ける影響は軽減できるものと思われる。

問 陸自オスプレイの配備先である佐賀空港の施設整備の状況について伺う

答 公害防止協定が見直され、現在、駐屯地予定地の用地取得に向けた所要の調整などが行われているものと承知している。

問 5年以内を目標とする暫定配備期間は、市と防衛省が確認した期限に変更がないか伺う

答 引き続き、5年以内を目標とす

る暫定配備期間の遵守を求めている。



飛行するオスプレイ

議員が聞いた! 今とこれから 一般質問

3月定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として質問時間を60分から50分に短縮しました。個人7人が大項目18点、小項目100点にわたり、一般質問を行いました。



一般質問の全文(会議録)

令和5年3月定例会の会議録は令和5年6月上旬に公開予定です。
また、図書館、各公民館でも閲覧することができます。

問 今後の新規職員採用の考え方は
答 継続的に採用していくことが必要と認識し安定した採用に努めていく。

問 定年引上げとなった職員の活用は
答 若手職員への技術継承や経験が浅い管理職へのマネジメント支援など、これまでの経験や知識を生かした任用に努める。

定年引上げ年度	定年年齢
令和6年度(令和7年3月31日まで)	61歳
令和8年度(令和9年3月31日まで)	62歳
令和10年度(令和11年3月31日まで)	63歳
令和12年度(令和13年3月31日まで)	64歳
令和14年度(令和13年4月1日以降)	65歳

定年年齢の段階的引上げ

日の中に救急隊へ配属する取組を行っており、今後も働きやすい環境づくりを検討し活躍の推進に取り組んでいく。



活躍する女性消防職員

問 今後の歩道や道路の整備や改修は
答 現在の歩道幅員を活かしなが、必要に応じて電柱や標識などの占有者と調整を図る。段差の解消には、現在小学校周辺の横断歩道から進めている歩道切下げ工事の進捗を図る。

問 占用物調整は
答 調整は移設や電柱への共架など。調整先は東電やNTT、警察。



歩道上の占用物

人件費に影響する一般職員の
定年年齢引上げに関して



高橋てる子 議員



女性消防職員の可能性を最大限
に発揮できる取組の推進を



竹内伸江 議員



歩道の安心安全について
早急に市内全域での改修を



石井徳亮 議員



鈴木 秀子 議員



学校給食費の無償化について

問 現在、1月から3月までは第3子以降は無償になっている。コロナや物価高騰など生活が厳しい状況の中、中学3年生まで、全員無償化を実現する考えはないのか

答 県の支援策と連携を図った学校給食費の無償化をスタートしたところであり、現時点では全員無償化への拡充は考えていない。引き続き、第3子以降の無償化を継続していきたい。

問 小・中学校を無償にした場合の経費はいくらなのか

答 全員無償化した場合、年間の財政負担額はおよそ5億7400万円の増額となる。



給食の時間

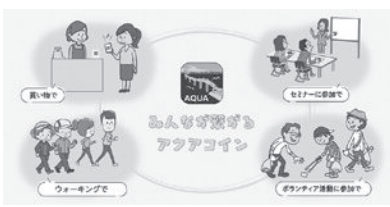
座親 政彦 議員



市民サービスの充実と地域活性化に向けて

問 電子地域通貨「アクアコイン」について、今後の取組内容は

答 アクアコインの活用による共創社会を目指し、「利用促進事業」「加盟促進事業」「自立化推進業」の3つの事業の着実な推進を図る。今後、君津信用組合や木更津商工会議所と連携し、加盟店舗の拡大に向けた営業活動の実施や令和5年度にサービス開始予定の銀行口座振替によるチャージ機能の普及を行うことで、アクアコインの利便性をより向上させるとともに、ポイント還元キャンペーンの充実に向け、企業等に対する寄附金の募集を広く行つて。



田中 紀子 議員



子どもにとっても、保育士にとってもよりよい保育環境を

問 木更津市では、今般の不適切保育の報道を受け、市内保育施設等(72施設)を対象に2回特別研修会を行った。施設管理者向けの研修の参加状況は

答 51施設の方が参加。

問 子どもへの暴力防止プログラム(CAP)を実践しているENJOYCAPによる保育担当者向けの研修会は

答 44施設の方が参加。

問 CAPを各保育園などでもやりたい場合、市の支援は

答 保育に対する職員の意識を統一するためにも、効果的。今後は各保育施設等での研修にも、市が支援を実施したい。

施設管理者感想	・不適切な保育の防止には職員同士のコミュニケーションが大切・子どもに寄り添える環境を作ることが重要である・他施設の方との交流により悩みを共感できた
保育士等感想	・子どもの人権の大切さを知り、子どもたちへの伝え方のヒントを得ることができた ・自己肯定感を高めることで、つらい思いをしている子供たちを救える、それは私たち保育士にできる大切な役割であることを確認できた

研修会の感想

堀切 俊一 議員



木更津市も「がんの集団検診」を無料にし、受診率向上を

問 施政方針に「がん検診の受診率向上に向けて取り組む」と記述がある。集団検診の受診料は木更津市と比べ、

君津市は無料であるし袖ヶ浦市も安価である。木更津市も無料にできないか

答 現在、一般の方からは受診料の2割程度を負担していただいている。無料にすることは考えていない。

問 木更津市のがん検診の平均受診率は5.0%のことだが、他市の状況は

答 君津市は7.5%、袖ヶ浦市は11.8%である。

問 木更津市より

受診率が高いが

答 受診勧奨をし、無料にはしない。

項目	木更津市	袖ヶ浦市	君津市
結核・肺がん(X線)	40歳以上 1,000円	無料	40歳以上 無料
胃がん(X線)	40歳以上 900円	40歳以上 500円	40歳以上 無料
大腸がん(便検査)	40歳以上 300円	40歳以上 100円	40歳以上 無料
乳がん	30~39,43,45,47,49歳 エコー 900円	30歳以上 エコー 500円	30歳以上 エコー 無料
	50歳以上 X線 800円	40歳以上 X線 500円	40歳以上 X線 無料
子宮頸がん	20歳以上 700円	20歳以上 400円	20歳以上 無料

木更津市議会第20期では、4つの特別委員会を設置し活動してきました。今定例会でこの4年間の活動・調査の結果報告を行いました。



詳しくはHPを
ご覧ください

基地政策特別委員会

本委員会は、永年にわたり基地に対する様々な問題に対し協議を重ねてきました。今期は、陸上自衛隊V-22オスプレイの暫定配備への対応など、本市のみならず、全国も関心を寄せる重要な案件についての協議と判断を行ってきました。

陸上自衛隊V-22オスプレイの暫定整備については、配備計画の詳細や周辺環境への影響などについて、防衛省に直接説明を求めるとともに、書面により質問を提出するなど、慎重に協議を行った上で、市議会として国へ意見書を提出しました。令和2年7月に暫定配備が開始されてからも定期的に現地視察を行うなど、動向を注視しており、今後も騒音対策の徹底や配備期間の遵守を求めていく必要があります。

基地に関する諸問題は、多様であり、今後も継続して協議・検討する懸案事項があることから、基地を有する自治体の議会として引き続き調査・研究が必要であります。



交通政策特別委員会

本委員会は、人口減少や少子高齢化が急速に進展するなか、市民の移動手段を確保することの重要性がますます高まっていることから、本市の地域特性に応じた持続可能な公共交通の確立に向けた各種施策を中心に調査・研究を行ってきました。

路線バスについては、この4年間ににおいては、利用者が少なく、運行経路の重複、長大化している路線の短縮化や統合が行われており、効率化に取り組んでいます。また、令和4年度にはさらなる再編を視野に入れ、中心市街地循環バスの実証運行を行っており、現在は本格運行の導入について検討を行っていることから、より良い路線となるよう動向を注視する必要があります。

公共交通は市民の足として生活に直結する重要事項であることから、本委員会の果たすべき役割は非常に大きいものであり、引き続き調査・研究が必要であります。

低炭素社会調査特別委員会

本委員会は、低炭素社会の実現に向けた取組等のうち、「地球温暖化対策」を中心として調査・研究を行ってきました。

こうした中、令和元年度に「木更津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定、国が温室効果ガスの削減目標を大幅に引き上げたことを背景とした令和4年度の「木更津市地球温暖化対策実行計画」の改訂においては、本委員会から市の行動を求める意見をだすなどの活動を行いました。

令和3年に「きさらづゼロカーボンシティ宣言」を行うなど、既に市では低炭素社会（二酸化炭素の排出が少ない社会）ではなく、脱炭素社会（二酸化炭素の排出が実質ゼロの社会）に向けた取組が進んでおり、今後も市の取組（持続可能なまちづくり）をともに積極的に取り組んでいくため調査・研究は継続すべきと考えます。

市庁舎整備特別委員会

本委員会は、新庁舎の整備に関する事業等について調査研究等に取り組んできました。

令和2年6月に改訂された庁舎整備基本構想、庁舎整備基本計画では、場所・規模・事業手法・施設の複合化など大きな見直しが行われたにもかかわらず、市民の認知度は低く、このままでは市民の意思・希望を十分に反映し、庁舎整備基本構想（改訂版）に掲げている基本理念等に沿った市庁舎が建設されるのか懸念があるため、これまでの先進事例の調査研究に加え、執行部の説明や質疑を交えて、新庁舎整備に関する提言書を市に提出することで、新庁舎の整備について基本的な考え方を示しました。その後、新庁舎整備における議会スペースに係る意見書等を市長へ提出しました。

建築資材の価格高騰や納期の遅延が生じていることで、新庁舎開庁時期が令和7年4月から1年程度延期されることとなるなど、整備の進捗に伴い、施設の状況等への市民の関心も大きくなっており、このことから、市民が望む、より良い庁舎となるよう本委員会が果たすべき役割は継続されるものであり、市庁舎に関する諸問題について、引き続き調査・研究が必要と考えます。

委員会の行政視察

行政視察は、他の自治体が行っている先進事例等を調査研究し、市民福祉の向上やまちづくり施策に活かそうとするものです。行政視察の調査項目は、委員会の所管事項に関し各委員会で協議して決定しています。

総務常任委員会

令和5年1月20日

- ・ 埼玉県八潮市「地域防災計画作成への取組について」
- ・ 東京都渋谷区「防災対策について」



八潮市で説明を受けている様子

八潮市では地区防災計画作成にあたり、地域の特性を生かすために住民が主体となって作成に取り組んでいることや策定モデル地区を定めていることは本市の参考にしたい。また、防災士の養成や育成に積極的に取り組む様子が伺えた。さらに、市内で結成されている自主防災組織に、設立年度時のみならず、追加の資機材整備費を補助しており、初期投資のみの補助では組織の継続性に支障があると感じるため、本市も見習うべき事項である。

年々、自然災害の危険度が増す中で、防災意識を地域で高めていく必要性が高まっている。住んでいる地域の特性を捉えた計画作りは重要であり、先進的な取組の調査・研究を行い、地区防災計画作成を精力的に推進していく必要があると考察する。

ウクライナ、トルコ・シリアへ支援金

ウクライナ及びトルコ・シリア大地震への人道支援のため、議員会から国連UNHCR協会（国連の難民支援機関）へ計46万円の支援金を送りました。

〈支援の内訳〉

- ・ ウクライナへの人道支援（2回目） 23万円
- ・ トルコ・シリア大地震への人道支援 23万円

支援金に対する感謝状



次回6月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				6/8 本会議 (開会)	9	10
11	12	13	14	15	16	17
		本 会 議 (一 般 質 問)				
18	19	20	21	22	23	24
		総務常任 委員会	教育民生 常任委員会	建設経済 常任委員会		
25	26	27	28 本会議 (議案審議) (閉会)	29	30	

任期満了による木更津市議会議員一般選挙が4月23日に執行されたことに伴い、正副議長の選挙や常任委員会委員を選任するための臨時会が5月中旬に招集される予定です。詳しくは、議会事務局（電話 23-7185）へお問い合わせください。

●声の市議会だよりについて

視覚障がい者を対象に市議会だよりを録音したCDを貸し出しています。また、市議会ホームページからも「声の市議会だより」をお聞きいただけます。

●本会議のインターネット中継について

本会議の映像（生中継及び録画中継）をインターネットでもご覧いただけます。

URL: <http://www.city.kisarazu.lg.jp/shigikai/eizo/1003184.html>

22年間継続で防犯意識を高めた『真舟自警団』を取材



表紙の写真

空き巣、詐欺など多くて不安

地域で空き巣や詐欺などの犯罪が多く、地域住民の不安が募る中、平成16年に真舟自治会自警団を立ち上げました。その後、自治会での位置づけは「活性ボランティア」、有志の自主防犯組織「真舟自警団」となり、活動を続けています。

自分のまちは自分で守る

昼のパトロールは、平日5日間を毎回4人から7人で2ルート歩きます。朝の登校時の交差点での見守りは、平日7時から1時間です。夜は月水金と、土曜日(第2、第4)に、19時30分から1時間、現在30人が4班に分かれてパトロールをします(青パトと徒歩)。歩くパトロールの必需品は、指示棒と懐中電灯、拍子木、そしてハンドマイク。「こちらは、真舟自警団です。ただいまパトロール中です。火の元の注意をお願いします…」と放送しながら歩きます。



小学校の下校時刻に合わせた15時のパトロールに同行しました(左下写真)。年末になると聞こえてくる火災予防の拍子木の音は冬の風物詩ですが、日がまだ高い真舟の街並みに響き渡る様子は、まるで「自分のまちは自分で守る」と言っているようでした。

地域で防犯意識を高め、まちの美化も

真舟地域は、玄関先に真舟自警団のステッカーが貼られています。警察とも相談し、警察の名前も入れたステッカーを全戸配布しました。また、地域に防犯のぼり112本も立てています。

さらに、パトロール中に犬のフンをみつけたら、チョークで印をつけ日付を書きます。これを繰り返していたら犬のフンをみかけなくなったそうです。

真舟自警団の継続した活動は、犯罪の抑止力に

真舟自警団は、木更津市が把握している自主防犯組織65団体の中でも最も精力的に活動されている団体のひとつです。代表の吉田さんは、自警団の活動は、犯罪の予防効果があったと話します。また、発足当時から22年間続けてきた行動隊の古藤さんは、自身の健康のためにも活動し続けてよかったと話していました。



真舟自警団代表の吉田さん

市議会だよりへのご意見・ご感想はこちら

メール) gikai@city.kisarazu.lg.jp

電話) 0438-23-7185

FAX) 0438-22-4734

ハガキ) 右の部分を切り取って、官製はがきの裏面にのり付けして投函

宛 先) 〒292-8501木更津市富士見1-2-1
市議会事務局 あて

※いただいたご意見等は、市議会だよりに掲載する場合があります。また、回答が必要な場合、お名前とご連絡先をお書きください。

こちら編集会議

いただいたご意見は今後の紙面づくりの参考にし、議員で情報共有します。また、市政に関することは執行部に届けました。市議会だよりのご意見・ご感想をお待ちしています。

木更津市議会広報委員会 ◎委員長 ○副委員長

◎田中 紀子 ○石井 徳亮 神蔵 五月
堀切 俊一 石川富美代 鶴岡 大治



「市議会だよりへの意見・感想」

① 関心があったものはどれですか。(複数可)

表紙・令和5年度当初予算・議案審議・発議案・賛否のわかれた議案・一般質問・特別委員会活動報告・委員会の行政視察・ウクライナ、トルコ・シリアへ支援金・Topics

② (表紙とTopics) 市民への取材記事のご感想

③ 市議会だよりに関するご意見・ご感想